

2018

3.11

SUN

福島原発事故から7年

いのちを守り、
子どもたちに未来を手わたす日に

再生可能エネルギー先進県・いしかわにチェンジ!



(2017年3月、毎日新聞世論調査)

原発の再稼働に



(2017年2月、朝日新聞世論調査)

どの世論調査を見ても、原発再稼働反対は、国民の5割から6割で揺るぎません。この願いにこたえる新しいリーダーが必要です。

いのちを守り、子どもたちに未来を手わたすために、3月11日を原発ゼロ!の思いを示す日にしましょう。

志賀原発の廃炉計画を策定し、県の再生可能エネルギー導入100%めざす期限を決め、「エネルギー先進県いしかわ」をつくります。
能登の自然を生かした再生可能エネルギーの本格的な普及で、新たな産業・雇用を増やします。

経済の発展・環境にとって即時ゼロこそ現実的です

志賀原発の下に活断層があることが専門家によって指摘され(2016年3月3日有識者会合)、志賀原発は建ててはいけなかったことが明らかになりました。事故が起これば福島県のような国土消失がおり、その復興には予想もできない莫大なコストがかかる…原発はコストが安いという理論は成り立ちません。

世界中で、太陽光・風力発電などは一番コストが安く普及が急速にすすんでいます。日本の自然エネルギーのコストが高い原因は、不当に高い送電線接続コストを要求されるなど、政策的な問題なのです。

豪雪の際の避難計画もなく、核のゴミを処分する技術も確立していない…このまま原発に固執し続けることは次世代に負の遺産を押しつけることになります。

あたらしい知事といっしょに、
あたらしい県政をつくろう。



チェンジ!
いしかわ

原発ゼロ!の1票を
新しい女性リーダーに

